

共同保存図書館構想の 基盤整備に向けて

講師：松岡要氏（元日本図書館協会事務局長）

主催：特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩

全国の公立図書館が自治体を越えて資料を借り利用者に提供した冊数は、年間 198 万冊を超える（日本図書館協会調査 2012 年度）。10 年前の実に 4 割増だ。設置母体の異なる図書館の存在、相互協力があって図書館事業は展開される。利用者の請求は個別で、多様だ。求められる資料提供には図書館の連携協力は欠かせない。

自治体の行政事務にそういう側面がないわけではないが、所蔵資料（物品）を提供＝流通させる業務を日常的に行う事例は他では見受けられない。図書館界の協力事業は異質だ。

東京都立図書館との協力・支援関係の再構築、さらには必要な地域の共同保存の体制など。今後、自治体行政の中で理解を得て図書館事業を伸ばしていくには、それを確実に実施できる確かな制度的保証が必要である。自治体制度の中で図書館の置かれた課題を見つめ、図書館が広域行政として採用できる共同事業のあり方を考えていきたい。

日時：2014年5月18日（日）
午後 3:10-4:30

（午後 2 時から 3 時は、多摩デポ総会を開催）

会場：国分寺労政会館 4 階 第四会議室
（国分寺駅南口徒歩 5 分）

国分寺市南町 3-22-10 TEL：042-323-8515

参加費：無料

（多摩デポ総会後の、会員以外の方にも聞いていただける講演会です）

定員：120名（事前申し込み優先、申し込みはメールか FAX でお願いします）



《申し込み・問い合わせ先》

特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩

〒182-0011 調布市深大寺北町 1-31-18

●HP：http://www.tamadepo.org/ ●E-Mail：depo_tama@yahoo.co.jp

●TEL&FAX：042-484-3945

（不在が多いので、連絡はメールか FAX でお願いします）